



傘に反射材を装着した目立つ服装の例

●歩行者

▷夜間は目立つ服装を

道路の横断には、安全を十分確認し、横断歩道を利用しましょう。特に左側からくる自動車はスピードがつかみにくいため注意しましょう。夕方や夜間は、明るく目立つ服装で、反射材やライト等を持ちましょう。

●自動車

▷ライトは原則ハイビームです
夕方や夜間にはハイビームを有効活用し、早めにライトを点灯しましょう。

▷交差点では2段階停止

見通しの悪い道路では、停止線で一時停止後、徐行で進み、目視で再確認しましょう。

▷自転車・歩行者に配慮した運転をしましょう。

●自転車

▷大人もヘルメットを着用

原則として車道の左側を走り、自動車や歩行者に配慮した走行をしましょう。

被害を軽減するため、子どもから高齢者までヘルメットを着用しましょう。

昨年、市内では、434件の交通事故が発生しています。交通事故は誰もが当事者になる可能性があり、普段の生活を一変させてしまう怖さがあり、起こさないようにしましょう。

交通事故に遭わない 起こさないために



交通安全運動の様子

交通安全は地域や家庭から！

今年、市内で発生した交通事故は6件中5件で高齢者が尊い命を失っています。また、自宅の近くの生活道路での事故が多数発生しています。慣れた道路でも「自分は大丈夫」などと過信することはやめましょう。

交通事故を防ぐのは、何より一人ひとりの心掛けです。身近な地域の集まりや家庭・職場などで、交通安全対策や自宅近くの危険箇所などについて話し合い、市民総ぐるみの交通安全への取り組みをお願いします。



交通安全「私から」 事故は他人事ではない

安曇野警察署
署長
清水英明さん

市民の皆さんに事故を身近に感じてほしいです。運転免許所有者の割合からすれば、事故件数は少なく感じてしまうかもしれませんが、1度の事故で尊い命を失ってしまうこともあります。「他人の事故」「自分は大丈夫」という意識を変えてください。安曇野警察署でも啓発活動を行っていますが、一番大切なのは一人ひとりが交通安全の意識を持つことです。事故を起こすのも「人」、事故に遭うのも「人」です。県交通安全運動推進本部でもスローガンを『今行動の時！交通安全「私から！』』としています。ぜひ安全意識を高めていただきたいと思います。



三郷小学校自転車部

部長 青柳 空くん(写真右)

副部長 松本侑也くん(写真左)

「安全確認」・ 「かもしれない 運転」を忘れないで

自転車部の活動を通して、安全な運転の方法等を学んでいます。普段から、見通しの悪い道路では左右の確認はもちろん、後ろも確認するなど、安全確認をしています。それでも、車が建物の陰から飛び出してくることや、とても速いスピードで走ってくることがあるので、怖いと感じることがあります。見通しの悪い場所での徐行運転や人が飛び出してくる「かもしれない」と考えて運転をしてほしいです。自転車を運転している人の中にも、傘をさしていたり、下り坂を猛スピードで走っている人もいたりするので、お互いに安全を意識することが大切だと思います。

大切なのは

意識の向上

交通安全について、さまざまな立場の皆さんからお話を伺いました。その中で、共通するのが交通安全に対する「意識」を高めること。

この機会に皆さんの交通安全に対する「意識」をもう一度考え直す機会にしてみてもいいのでしょうか。

家族の声掛けで 緊張感を保つ

安曇野交通安全協会
会長
宮坂英文さん



交通安全協会の活動に携わり25年になります。街頭啓発活動をしていても、交差点を曲がる際にオーバーランする自転車や一時停止をしない車両等、見ていてひやりとする場面によく出会います。協会では、暗い時間帯の反射材の着用やシートベルトの着用等、交通安全を呼び掛けていますが、大切なのは身近な人同士の声掛けだと思います。朝、家を出る家族に「車に気を付けてね」「スピードを出しすぎないようにね」と一声かけるだけで、安全に対する意識が変わってきます。日常でも緊張感を持ち、安全意識を向上させることが重要だと思います。

市民総ぐるみで事故抑止を

市長 宮澤宗弘

今年に入り、市内では既に昨年以上回る交通事故死亡事故が発生し、9月14日には「交通事故死亡事故多発非常事態宣言」をする憂慮すべき事態となっています。

市内では、高齢者をはじめ、歩行者や自転車による事故が増加しています。ドライバーの皆さんは、もちろんのこと、各家庭や地域、職場等においても交通ルールなどをお互いに確認し合い「交通安全は自分自身が主役である」ことを再認識いただき、今後も交通事故抑止に努めていただくよう強くお願いします。

市では、安全安心なまちづくりの実現に向け、国、県などに協力いただき、歩道や道路、信号などの整備や、市の交通安全施策の大綱となる「第3次安曇野市交通安全計画」の策定などを進めています。悲惨な交通事故を一件でも減らすために、関係各機関や団体の皆さんと共に、市民総ぐるみで交通事故抑止に全力を挙げて取り組んでいきます。